

1 受審事業者

経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社セリオ	
名称：美濃加茂市立 加茂野保育園	種別：保育所
代表者氏名：園長 佐藤 かすみ	定員（利用人数）：174名（144名）
所在地：岐阜県美濃加茂市加茂野町鷹之巣 1453	TEL：0574-26-9813
受審回数：1回	
評価年月日（評価認定書の記載日）：令和7年1月20日	
継続評価年月日（評価認定書の記載日）：令和8年3月13日	

2 総 評

◇特に評価の高い点

・法人事業部全体として行う階層別研修、職種別研修、園内での「ていねいな保育」の手引きを活用した研修の他、園内でも研修委員会を組織し、研修を定期的に開催するなど、保育に対する基本的な考え方やその方法について、法人事業部と園が一体となって計画的に教育・研修が行われている。

・キャリアカウンセリングでの事前アンケート結果を踏まえ、短時間ではあるが個人面談を毎月行い、職員の悩みの解消等に努めている。

・独自に不適切保育防止マニュアルを策定し、勉強会を開催するなど個々の職員の理解度により園児への関わり方に差異が生じないように理解を深める取組を行い、職員相互で声かけられる環境の構築に努めている。ていねいな保育、不適切保育については、個人の職務経歴等に応じて、感覚が異なる事象であるため、毎年セルフチェックシートを活用した振り返りも行っている。

・未満児室の危険性が高かった段差の改修を即実施されたり、絵本コーナーの工夫などの改善など求められたことを真摯に受け止めていただき実行される姿勢は素晴らしい。

・不審者が侵入してもわかるようにカメラの設置も行われ、より安全・安心な保育園となったことは保護者だけでなく、職員も安心して保育が行える環境となった。

・保護者の思いや意見を受け止める意見箱も設置され、保護者と共に子育てをしていく姿勢が伺える。

3 第三者評価結果に対する事業所のコメント

このたび、第三者評価において高い評価をいただきましたことを、大変ありがたく受け止めております。

日頃より保護者の皆様や地域の皆様に温かく見守っていただきながら、子どもたち一人ひとりの成長を大切に保育を行ってきたことが、このような評価につながったものと感じております。今回の評価に満足することなく、これからも職員一同心をあわせ、子どもたちが安心して過ごし、のびのびと成長できる保育環境づくりに努めてまいります。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果
Ⅰ-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
1-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>法人事業部が作成した「保育の心構え」「ていねいな保育」のパンフレットを全職員に配布すると共に、職員研修に役立てている。個々の保育士の自己評価は、グーグルフォームを活用して実施・集約し、結果をホームページで公表している。園内に研修委員会を設け、職員が相談して決めたテーマで毎月園内研修を行っている。ファミリア（パート職員）の研修も行う予定としている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>・事業部全体として階層別研修、職種別研修、園内でのていねいな保育の手引き書作成・周知、園内にも研修委員会を組織し、研修を定期的に行い、質向上へ繋げる活動を行っている。園内研修の担当を決め、職員自らが担当し準備をすることで、より専門性を高め保育の向上に繋がっている。</p>	
<p>継続評価結果</p> <p>法人事業部全体での研修、園内でのていねいな保育の手引きによる研修や研修委員会での研修等、質の向上に向けた取組が組織的に行われている。また、園及び個々の職員の自己評価や保育目標の進捗状況を確認するための面談等、定期的に行い、保育の質の向上に繋がっている。</p>	
1-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>事業計画は、園の自己評価結果・個人の自己評価の集約結果等を踏まえ、見直しを行い、次年度の計画策定に活かすといった流れで、評価結果を分析した内容が、次年度の計画（改善目標）に繋がるようにしている。保護者満足度調査を実施し、園の主観的評価だけでなく、客観的評価も分析し、改善施策の立案に繋げている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>毎年度事業計画の策定（職員全員の意見を取り入れて策定）～結果評価～見直し反映～次年度計画策定の流れで、評価結果を分析した内容が、次年度の計画（改善目標）に繋がるようにしている。保護者満足度調査について、毎年実施し、保育園の主観評価のみでなく、客観的評価を通じて、評価分析、改善施策の立案と実施を行い、この結果が評価の向上に繋がっている。</p>	
<p>継続評価結果</p> <p>職員全員の意見を取り入れて策定される事業計画は、園評価等の評価結果を踏まえ次年度の計画に策定に反映される仕組みとなっている。毎年12月に実施される保護者満足度調査の結果についても、園運営改善に繋がっている。</p>	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	
Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>職員確保は、園運営上喫緊の課題であり、園、法人本部担当者、エリア担当、採用担当部署等と連携を図りながら、職員採用に係る職員紹介制度等も活用し、組織を挙げて計画的に取り組まれている。職員育成については、今年度園内に研修委員会を立ち上げ、園内研修を毎月行うと共に、市内の保育園等に職員を派遣し、職員の学びの機会を増やすなど、育成に向けた取り組みが着実に動き出している。また、年3回の定期的な職員面談以外にも、機会を捉え面談を行うなど、定着に向けた取り組みが行われている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員体制について園と本部それぞれにて情報管理・共有を行っている。情報の相違が起こらないように施設長はエリア担当と綿密に連携を行い、採用計画は施設長・エリア担当において管理される職員管理表に基づいて本部担当者にて数値報告・採用進捗の確認を担当部署(採用課)と連携して行っている。 ・職員紹介制度も整っており、5名の職員がこの制度で入職している。 	
<p>継続評価結果</p> <p>必要な人材の確保については、園長が法人事業部のエリア担当と綿密に連携を図りながら、計画的に採用が行われている。法人独自の職員紹介制度もあり、職員確保に役立っている。また、職員研修制度も整っており、定期的な職員面談の実施等、定着への取組も確実に行われている。</p>	
Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a
<p>前回評価結果：b</p> <p>各個人の目標の把握・評価、面談によるフィードバックを行うターゲットプラン（人事評価）の制度、意向調査及びこれに伴う職員面談の実施等々、各種人事管理制度が法人全体として確立している。</p> <p>職員個々の事務分掌を明確にするため、職務分担表の作成が望まれる。ファミリア（非常勤職員）へのターゲットプラン（人事評価）制度の本格的な運用に期待したい。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤職員の人事評価制度を実施 ・非常勤職員全員に記入の仕方を説明し、事業計画と照らし合わせながら目標設定とその他を含めた自己の振り返りと自己評価を実施した。その後は常勤職員と同様、一時評価を園長、二次評価を事業部長が行い、フィードバック面談を実施。 	
<p>継続評価結果</p> <p>正規職員に加え、非常勤職員への人事評価も行われており、また保育業務についても事業計画と照らし合わせながら目標設定とその他を含めた自己の振り返りと自己評価が実施されている。</p>	

毎月、キャリアカウンセリングでの事前アンケート結果を踏まえ、短時間ではあるが個人面談を行い、職員の悩みの解消にも努めている。	
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>年間研修計画を策定し、計画的に外部の研修等を受講する機会が設けられている。今年度園内に研修委員会を立ち上げ、園内研修を毎月行うと共に、市内の保育園等に職員を派遣し、職員の学びの機会を増やすなど、育成に向けた取り組みが着実に動き出している。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人本部で定めた予算に従い、園内で年間研修計画を策定し、計画的な受講を進めている。園内において独自に研修委員会を設立し、運営の中で発生する課題に応じた研修を継続して実施している。 ・本部より発信されるオンライン研修を職種別に受講し、受講表で管理を行っている。 ・自治体が開催する研修、公開保育に積極的に参加している。公開保育は登園でも行い、他園の先生方とディスカッションを行い、保育の向上につなげている。 	
<p>継続評価結果</p> <p>事業部全体として行う階層別研修、職種別研修、園内でのていねいな保育の手引きを活用した研修の他、園内でも研修委員会を組織し、研修を定期的で開催するなど、保育に対する基本的な考え方やその方法について、計画的に教育・研修が行われている。自治体が開催する研修、公開保育に積極的に参加している。公開保育は自園でも行い、他園の職員ともディスカッションを行うなど、保育の向上に繋げようと努めている。</p>	

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	
Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<p>前回評価結果：b</p> <p>法人及び園のホームページ、コドモン等で、事業内容の情報発信が行われている。美濃加茂市の指定管理施設ということで、定期的に美濃加茂市こども未来課によるモニタリングが行われており、園の課題等に係る話し合いの結果は、市のホームページで公表されている。保護者会から「運営委員会」に組織変更が行われたこともあり、保護者の意見は運営委員会を通じ聴取するシステムになっている。</p> <p>運営委員会の位置付けを対外的に明らかにするためにも、設置要綱等を整備されることが望ましい。保護者アンケートでは、園の取り組みへの要望や、改善に関する意見が寄せられている。保護者の声を真摯に受止め、運営方法の改善にさらに努力してほしい。</p>	

<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会規約の作成を行った。 ・運営委員会規約を作成し、保護者へ周知することで委員会の役割等を明確にし、より一層の経営・運営の透明性を図った。
<p>継続評価結果</p> <p>美濃加茂市の指定管理施設ということで、市による定期的にモニタリングが行われており、園の課題等に係る話し合いの結果は、市のホームページで公表されている。保護者満足度調査の結果についても、園運営改善に繋がられている。保護者が参加する運営委員会の規約を整備し、保護者へ周知することで委員会の役割等を明確にし、より一層の運営の透明性に努めている。開催した際には、議事録を作成し、記録として残されることに期待したい。</p>

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されているか。	
Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>「ていねいな保育」のマニュアルを全職員で読み合わせ、統一した保育の構築に努められている。また、入職時に「保育の心構え」のマニュアルによって丁寧に指導されている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ていねいな保育」の手引き書を自社で作成し、全職員へ配布している。ていねいな保育の手引き書を元に読み合わせを実施し、セリオの目指すていねいな保育の定義、お子さまとの関わり方について、共通理解を深めるよう保育に活かしている。 ・不適切保育防止マニュアルを策定し、勉強会の開催をするなど個人の理解による関わり方の相違が起こらないように理解を深めると共に相互で声かけられる環境の構築に勤めている。 ・ていねいな保育、不適切保育については、個人の職務経歴に応じて、感覚が異なる事象であるため、定期的、継続的な振り返りとしてセルフチェックシートを毎年実施している。 	
<p>継続評価結果</p> <p>ていねいな保育の手引き書を元に読み合わせを実施し、園の目指すていねいな保育の定義、園児との関わり方について、共通理解を深めるよう保育に活かされている。独自に不適切保育防止マニュアルを策定され、勉強会を開催するなど個々の職員の理解による関わり方に相違が起こらないよう理解を深める取組を行い、職員相互で声かけられる環境の構築に努められている。</p>	

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。	
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
<p>前回評価結果：b</p> <p>毎年保護者満足度調査を実施し、保護者の意向を把握する努力されている。</p> <p>アンケート結果にて改善に関するご意見が寄せられていたので、全クラス保育参観や個人懇談の実施を検討されたい。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全クラスで保育参観、保育参加、個人懇談（希望者）を実施 ・全クラスで保育参観（年2回）、保育参加、個人懇談（希望者）を実施。 ・個人懇談については希望しない家庭も、送迎時に積極的に話しかけ家庭での様子や悩みなどを聞くことを行っている。 	
<p>継続評価結果</p> <p>保護者の要望を受け、全クラスで保育参観（年2回）、保育参加、個人懇談（希望者）を実施するよう、改善が行われた。個人懇談については希望しない保護者もあり、そうした保護者には送迎時に積極的に話しかけ家庭での様子や悩みなどを聞くことにしている。毎年12月に保護者満足度調査を行い、保護者の声を園運営に役立てている。</p>	
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
<p>前回評価結果：b</p> <p>苦情解決の体制が整備されている。アンケートの実施やコドモンで個別に意見が聞ける仕組みが構築されている。</p> <p>日々、保護者の苦情を受け入れる体制として、無記名で意見を言える意見箱等の設置が望ましい。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無記名で意見を伝えることができる意見箱を設置した。 ・ICTを利用することで個々のご意見を直接伝えていただく仕組みはあったが、「無記名」で言いづらいこともご意見がいただけるよう、意見箱の設置を行った。 	
<p>継続評価結果</p> <p>以前から行っていたICTを活用した個々の意見を聞くシステムに加え、園に対し言いづらいことも「無記名」で意見を言うことができるよう、玄関前に意見箱の設置を行った。</p>	

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	
Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>マニュアルに基づいて勉強会を行い、職員の共通理解を図っている。また、定期的にセルフチェックを行い、各職員に振り返りの体制が整えられている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ていねいな保育の手引き書を自社で作成し、全職員へ配布している。 ていねいな保育の手引き書を元に読み合わせを実施し、セリオの目指すていねいな保育の定義、お子さまとの関わり方について、共通理解を深めるよう保育に活かしている。 ・不適切保育防止マニュアルを策定し、勉強会の開催をするなど個人の理解による関わり方の相違が起らないように理解を深めると共に相互で声かけられる環境の構築に勤めている。 ・ていねいな保育、不適切保育については、個人の職務経歴に応じて、感覚が異なる事象であるため、定期的、継続的な振り返りとしてセルフチェックシートを毎年実施している。 ・日誌や反省、ドキュメンテーションの動画などから普段の保育を読み取り、話し合いを行ったり、マニュアルの確認をしている 	
<p>継続評価結果</p> <p>ていねいな保育の手引き書を元に読み合わせを実施し、園の目指すていねいな保育の定義、園児との関わり方について、共通理解を深めるよう保育に活かされている。また、独自に不適切保育防止マニュアルを策定し、勉強会を開催するなど個々の職員の理解による関わり方に相違が起らないよう理解を深める取組を行い、職員相互で声かけられる環境の構築に努められている。ていねいな保育、不適切保育については、個人の職務経歴等に応じて、感覚が異なる事象であるため、毎年セルフチェックシートを活用した振り返りを行っている。</p>	
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>毎日30分くらいのミーティングを行い、保育で気になったこと、行事の確認、園長からの報告など保育の反省や見直しを検討できる体制がつくられている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ていねいな保育の手引き書を自社で作成し、全職員へ配布している。ていねいな保育の手引き書を元に読み合わせを実施し、セリオの目指すていねいな保育の定義、お子さまとの関わり方について、共通理解を深めるよう保育に活かしている。 ・不適切保育防止マニュアルを策定し、勉強会の開催をするなど個人の理解による関わり方の相違が起らないように理解を深めると共に相互で声かけられる環境の構築に勤めている。 ・ていねいな保育、不適切保育については、個人の職務経歴に応じて、感覚が異なる事象である 	

<p>ため、定期的、継続的な振り返りとしてセルフチェックシートを毎年実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の昼礼で、昨日の昼礼以降の保育、当日の昼礼までの保育について共有し、振り返りと見直しを行っている。ヒヤリハットの共有についても継続して行っており、早急な見直しが行えている。 	
<p>継続評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ていねいな保育のマニュアルを自社で作成され、全職員に配布され読み合わせをされているのは、新入職員にとって保育を実施するうえで適切な対応が出来るので、保護者も安心して子どもを通わせることができる。不適切な保育にならないように定期的にセルフチェックシートで振り返りが行われているのは、資質の向上となる。 	
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>	
<p>Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。</p>	<p>a</p>
<p>前回評価結果：a</p> <p>指導計画の評価、反省を副園長がチェックし、見直し、検討を行い、次の作成に活かされている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導計画（年間、月次、週次、日次）については、帳票ごとに振り返り欄を設け、次の計画に反省が活かされるようにしている。 ・各種計画については作成者、チェック者、承認者が順次職責に基づいて確認、承認を経て実施する仕組みとなっている。 ・指導計画の変更時においても、上記同様に作成者の判断ではなく承認者の確認、承認を経て進める仕組みとなっている。個別指導計画においても、見直し・検討を行い、次の指導計画の作成に活かしている。 	
<p>継続評価結果</p> <p>様々な指導計画などを園長、副園長を中心に見直しや検討が行われている。各クラスの担任は、指導計画の振り返りを行い保育に反映される仕組みが構築されている。指導計画は、それぞれの職責に承認を得て、次年度の指導計画に活かされている</p>	

評価対象Ⅳ 保育内容

Ⅳ-2 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅳ-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。</p>	<p>a</p>
<p>前回評価結果：b</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上児は各年齢とも2クラスずつあり、適度の人数と複数担任により、のびのびとした保育が行われている。 ・0・1歳児は保育室のつくり段差があり、子どもが思い切り遊べる十分な広さが確保されていない。安全性の面からも早期の保育室改修を期待したい。 	

<p>施設の取り組み内容</p> <p>建物の基礎問題があり、大規模工事の実施はすぐには難しいが、建築資格を持つ用務員職員と保育職員で打ち合わせをし、段差を活かせるDIYを実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の基礎問題があり、大規模工事の実施はすぐには難しいが、建築資格を持つ用務員職員と保育職員 <p>で打ち合わせをし、段差を活かせるDIYを実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・扉を外し後付けで設置してあった柵を、活動の同線を考えた改築を実施中。 	
<p>継続評価結果</p> <p>昨年の指摘事項の段差をできる範囲で改善され、0, 1歳児が安心して保育が受けられる保育室となった。子どもたちが思いっきり遊べるスペースも工夫され、部屋が広くなったように感じるほど整理整頓がされ安全に遊べる保育室となった。</p>	
<p>IV-2-(2) 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている</p>	<p>a</p>
<p>前回評価結果：a</p> <p>外国籍の子どもが多く、言葉が通じない場合も丁寧に接していくことで、子どもが安心して過ごせる環境をつくっている。職員間での情報共有ができています。複数担任制で保育士が余裕をもって子どもに接している。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の成長と発達を鑑み、計画の立案、実施を組織内で確認・承認を経て保育を実施している。 ・不適切保育防止マニュアルやセリオのていねいな保育の手引きの冊子を活用し、一人ひとりに寄り添ってていねいな保育をこころがけ実施している。 	
<p>継続評価結果</p> <p>一人ひとりに寄り添った保育に心がけ実施されている。全職員がていねいな保育・不適切な保育のマニュアルを持ち、常に見られる体制が整えられている。</p>	
<p>IV-2-(4) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p>	<p>a</p>
<p>前回評価結果：a</p> <p>子ども一人ひとりが自分らしく興味を持った遊びを選択できるように、環境の整備と保育士の言葉がけを大切にしている。外国籍の子どもが多いことから、多様性を意識した肌の色が異なる人形を用意している。活動の取り組みテーマを決める際に、子ども会議を開催し、子どもたちが主体となって進めている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりが主体的に、興味を持ったあそびを選択できるよう保育環境の整備と、言葉がけを大切にしている。 ・園庭、遊具があるため、可能場合は戸外での活動を積極的に実施している。また、職員会議や屋礼を通して、日々改善を行い、子どもの生活とあそびを豊かにする保育の展開を継続している。 	

継続評価結果	
子ども一人ひとりが興味、関心を持った遊びを大切に考え、保育環境（人的環境・物的環境）が作られている。職員会議、昼礼を通して子どもにとってより良い保育を目指し日々改善されている。	
IV-2-(6) 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p>前回評価結果： b</p> <p>子ども一人ひとりの状態に応じて、子どもの気持ちを尊重し、その子に合った内容を提供できるよう保育に取り組んでいる。トイレトレーニングについても「トイレに行きたい」という本人の気持ちを大切にしている。</p> <p>1歳児については、0歳児と同じ保育室で、保育室内に段差があることで、子どもが思い切り遊べる十分な広さが確保されていない。安全性の面からも早期の保育室改修を期待したい。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の基礎問題があり、大規模工事の実施はすぐには難しいが、建築資格を持つ用務員職員と保育職員で打ち合わせをし、段差を活かせるDIYを実施している。 ・建物の基礎問題があり、大規模工事の実施はすぐには難しいが、建築資格を持つ用務員職員と保育職員で打ち合わせをし、段差を活かせるDIYを実施している。 ・扉を外し後付けで設置してあった柵を、活動の同線を考えた改築を実施中。 	
継続評価結果	
段差等を活かしながら安全に遊べる保育室作りを職員で考え合い作られているのは、子どもの安全を第一として考えられた結果だと思う。子ども一人ひとりの状態に応じた保育、子どもの気持ちを汲み取る保育をより進めていけると考えられる。	
IV-2-(10) 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a
<p>前回評価結果： b</p> <p>卒園児のほとんどが加茂野小学校に入学しており、小学校との連携がしやすい状況にある。加茂野小学校の先生が一日保育士体験にきている。園長は、加茂野小学校の授業参観に参加している。指定管理運営2年目であり、これから小学校との連携が進展することを期待する。小学校の授業参観を園長だけでなく卒園児の担任も参加することで、子どもの成長を確認し保育に活かせるとよい。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの連携に加えて、前年度の年長担任2名も授業参観や運動会見学に出席 ・今までの連携に加えて、前年度の年長担任2名も授業参観や運動会見学に出席して子どもたちの様子を見ることができた。また、前年度の保育を振り返り、全職員に共有することで保育の質の向上や、保育内容や保護者との関りの見直しを図ることができた。 	
継続評価結果	
年長の担任2名が小学校の授業参観・運動会見学に出席されるようになり、小学校との連携がより密に図られるようになった。保育内容や子どもとの関わりにも振り返りを行い活かせる体制が	

できたと思います。保護者にも安心して就学できる体制ができたと思われる。

評価対象Ⅵ 保育の質の向上

Ⅵ-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
Ⅵ-1-(1) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>ターゲットプランによる個々の目標の把握と評価、面接によるフィードバックで職員全体の意識と保育の質の向上を図っている。また、自己評価結果はグーグルフォームで集約し、結果を共有するなど活用している。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの成長と発達を鑑み、計画の立案、実施を組織内で確認・承認を経て実施している。 ・各種計画は締め切り時期に合わせて、園長、副園長との振り返り・反省を確認、承認の上で次期計画に繋げるようにしている。 ・保育の自己評価チェックシートを毎年定められた時期に実施し、自己評価を行っている。 ・また、職員会議や昼礼でも振り返りや気づいた事の共有を継続して実施している 	
<p>継続評価結果</p> <p>自己評価チェックシートにて自己評価が行われ、保育の資質の向上が図られている。職員会・昼礼にて振り返りや気づいたことが職員間で共有されている。</p>	

評価対象Ⅶ 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	a
<p>前回評価結果：b</p> <p>警備員を配置している。年に1回、セリオ本部と警察立会いのもと訓練を行い、指導を受けている。外部からの侵入に対する対応策が十分でない。敷地内に入る門や玄関などのオートロック、防犯カメラの設置について検討されたい。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守りカメラの設置を行った。 ・園庭に録画式のものではなくリアルタイムで見ることができるカメラの設置を行い、職員室で確認できるようにした。 ・また、万が一の不審者の侵入に備え警察の立ち合いによる訓練を引く続き実施し、各部屋が密室になるように新たに鍵の取り付けを全保育室に行った。 	

継続評価結果

警察官の立会いのもと不審者対応訓練がされている。また、外部からの侵入に備えてカメラが設置され安全な保育園づくりがされている。全保育室に鍵を取り付け安全が強化された。

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>春の遠足の実施について、運営委員会内に設置している遠足委員（保護者4名）により行先などのアンケートを実施している。クラス参観の機会に発表会を見てもらうなど、保護者の負担が少ない保育参加を企画している。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間行事計画を配布周知するとともに、保護者会での説明を実施している。 ・保育参加・保護者会を行うことで日ごろの園での生活の様子を保護者が実際に体験できる機会を設けている。 ・保育参加については事前に日程を設定の上、希望者がより多く参加できるように余裕をもって案内をしている。 ・また、未満児のクラスではブラインド参観を行い子どもたちの普段の様子をご覧いただくことで安心していただいている。 ・いつでも匿名でもご意見がいただけるよう、意見箱を設置している。 ・毎日の保育の様子を動画で配信し、保育園でのお子さんの様子をご覧いただき安心していただいている。 	
<p>継続評価結果</p> <p>年間行事予定を配布したり、保護者会にて説明がされている。保育参加は、事前に日程を知らせ参加しやすいように余裕をもたせて行われている。未満児クラスは、ブラインド参観にて見てもらい、保育士や子どもの様子がわかり安心されるように取組が行われている。</p>	